



# 土岐市統計書

2011

- 概要版 -

## 目 次

は じ め に ・ ・ ・ ・ ・ 1	安 全 ・ 安 心 ・ ・ ・ ・ ・ 11
土 岐 市 民 憲 章 ・ 市 の シ ン ボ ル ・ ・ ・ ・ ・ 2	公 衆 衛 生 ・ ・ ・ ・ ・ 12
土 岐 市 民 の 歌 ・ ・ ・ ・ ・ 3	医 療 ・ 保 健 ・ ・ ・ ・ ・ 13
土 地 ・ 気 象 ・ ・ ・ ・ ・ 4	教 育 ・ ・ ・ ・ ・ 14
人 口 ・ ・ ・ ・ ・ 6	財 政 ・ ・ ・ ・ ・ 15
産 業 ・ ・ ・ ・ ・ 8	所 得 ・ ・ ・ ・ ・ 16
建 築 ・ 運 輸 ・ ・ ・ ・ ・ 10	統 計 か ら 見 る 土 岐 市 の く ら し ・ ・ ・ ・ ・ 17

## 凡 例

- 1 本書の内容は平成23年の各統計資料を中心に作成しています。
- 2 資料は官公庁、民間団体ならびに庁内各課・室等からの報告によるもの、または、当課において直接調査収集したものです。なお、資料の出所名は各図表の下部右端に掲げてあります。
- 3 期間について、年とあるのは1月から12月まで、年度とあるのは4月から3月までです。
- 4 統計表中総数と内訳の計が一致しない場合もありますが、これは数字の単位未満について、四捨五入、または切捨てを原則としたためです。
- 5 数字の単位については、各表上部左端または表中に注記してありますが、一見して明らかなものは省略してあります。
- 6 統計の利用に当たって、更に詳細な内容を必要とするときは、本市総務部総合政策課へ照会してください。

# はじめに

ここに2011年（平成23年版）「土岐市統計書—概要版—」を刊行いたします。

この統計書は、本市の人口をはじめ、経済・社会・文化など各分野にわたる基本的な統計資料を収録した『2011年（平成23年版）「土岐市統計書」』の中から、特徴的なデータを抽出し、グラフや図を用いて視覚的に市勢の現状と推移を明らかにしたものです。本市の状況をより一層ご理解いただくための参考資料として、行政施策上はもとより、一般の方々にも広くご活用いただければ、誠に幸いです。

なお、貴重な資料の提供並びに格別のご協力を賜りました関係各位に対し、厚く感謝の意を表しますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成24年11月

土岐市長 加藤 靖也

# 土岐市民憲章

わたしたちは 長い歴史と伝統をもつ「土と炎」の土岐市民です。

わたしたちのまち は 先人の創造と努力によってきずかれ、世界と結ぶ「美濃焼のまち」として発展してきました。

わたしたちは 土岐市民であることに誇りを持ち、文化の香り高い産業都市へのしるべとして市民憲章を定めます。

- 自然を愛し 美しい土岐市をつくりましょう
- きまりを守り 明るい土岐市をつくりましょう
- 健康で働き 豊かな土岐市をつくりましょう
- 教養を高め 伸びゆく土岐市をつくりましょう
- 力を合わせ 住みよい土岐市をつくりましょう

## 市の花



キキョウ

(平成2年2月1日制定)

花期は7月～8月ごろで、花の色は青紫のほか白・ピンクなどがあります。また、中世に美濃国守護として活躍した土岐氏一門の旗印・家紋としても有名です。

## 市章



(昭和30年2月1日公表)

土岐市の頭文字である“土”を図案化したもので、窯焼く煙と温泉の湯煙をもって本市の表徴とし、これを市章と定めたものです。

## 市の木



ヒトツバタゴ

(平成2年2月1日制定)

ナンジャモンジャの別名で知られ、5月ごろ雪をかぶったように白い花をいっぱい咲かせます。国内では、長崎県対馬北端、岐阜県木曾川周辺、愛知県の一部に自生しています。

# 土岐市民の歌

作詞 土岐市民の歌制定委員会

補作詞 森 菊蔵

作曲 松尾 隆夫

おおらかに *mp*

みくにの やまよみののそら ひろがるのべにさきかおるひと

つばたごのしーろいはな

軽快に *mp*

あかるい ラララ あかるい ラララ あかるいときへ むねを

充実感 *mp*

ひらいて ひらいて カーざすはな

一 三國の山よ 美濃の空

ひろがる野辺に 咲きかおる

ひつばたごの 白い花

あかるい……

あかるい あかるい 土岐へ

胸を ひらいて ひらいて かざす花

二 歴史を遠く 受け継いで

土焼く技に 生命こめ

まっ赤に燃える 窯の火

ゆたかな……

ゆたかな ゆたかな 土岐へ

若い 情熱 情熱 希望の火

三 みぎりの丘に かじまむし

土岐のながれの ぐんぐん

空のそよ風 じんじん

のびのび……

のびのびの のびのびの 土岐へ

すすむ わたらのの わたらのの 旗じるし

(平成二年二月一日制定)

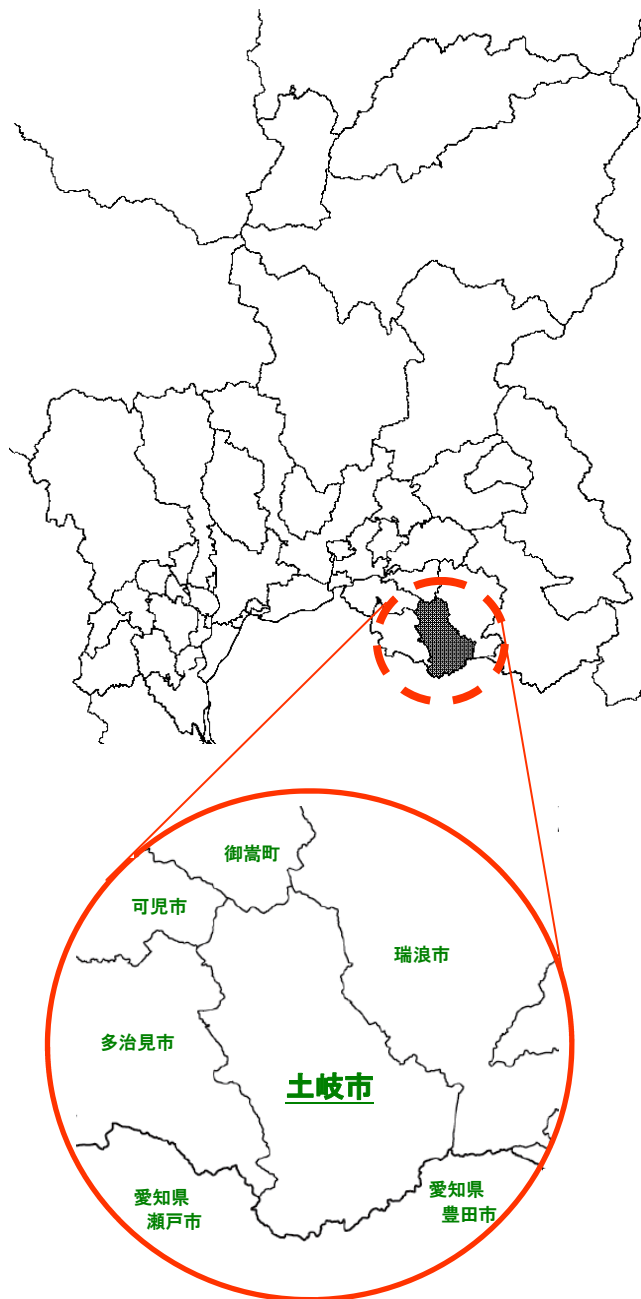
# 土地・気象

市域は、東西10.58km、南北17.47km、面積は116.16平方キロメートルで、その約7割を丘陵地が占めています。地形は南に高く北に低く、特に南部は急峻な山地となっています。中央部の丘陵地は、陶土採掘や窯業用燃料として樹木を伐採したため、昭和初期にははげ山と化していましたが、その後約50年間にわたり治山事業が続けられ、現在は緑豊かな丘陵が取り戻されています。

市街地は、北部を横断する土岐川流域及び支流の肥田川、妻木川流域の平坦部に開け、中央丘陵を環状に取り巻くように形成されています。

平均気温15℃前後、平均湿度70%と温和な気候であり、年間降水量は1,500mm程度、夏季の降水量が多く、降雪は少なくなっています。

## 位置



## 市域の変遷

編入年月日	編入地域	面積(Km <sup>2</sup> )
昭和30年2月1日	市制施行	116.29
昭和32年4月1日	泉町定林寺次月を可児郡御嵩町に編入	116.16

## 範囲

区分	地点	東 経	北 緯
極 東	曾木町蘭仙	137° 16′ 58″	35° 19′ 02″
極 西	泉町久尻	137° 08′ 40″	35° 22′ 32″
極 南	鶴里町柿野	137° 12′ 01″	35° 15′ 05″
極 北	泉町定林寺	137° 11′ 39″	35° 24′ 12″
市役所	土岐津町土岐口	137° 10′ 59″	35° 21′ 09″

## 地区別面積

地区	土岐津	下石	妻木	鶴里	曾木	駄知	肥田	泉	総面積
面積(km <sup>2</sup> )	10.97	8.01	15.02	22.03	15.86	5.77	9.60	28.96	116.16

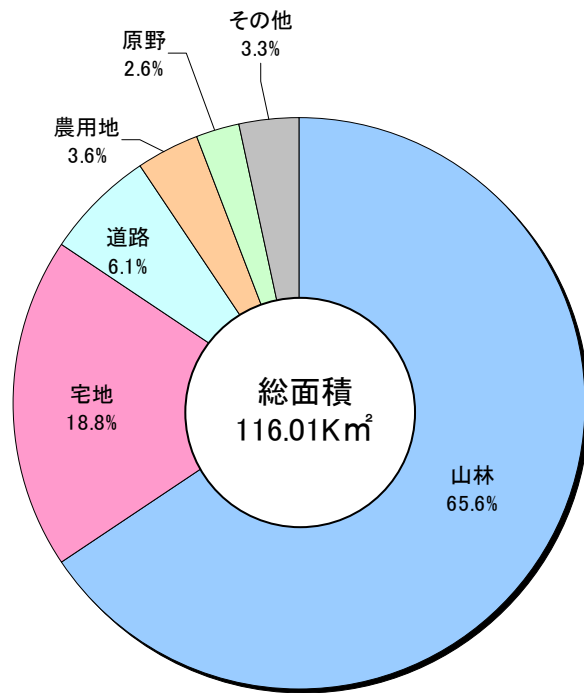
## ■ 主要山岳

鶴岡山 (鶴里)	712m
三国山 (〃)	701m
八剣山 (妻木)	478m
城山 (〃)	404m
夕立山 (駄知)	405m
高根山 (泉)	334m
丸山 (〃)	291m

## ■ 一級河川

肥田川	13,716m
妻木川	7,855m
土岐川	7,780m
伊野川	2,409m
下石川	2,250m
不動川	1,527m
前の川	1,113m
久尻川	948m
裏山川	790m

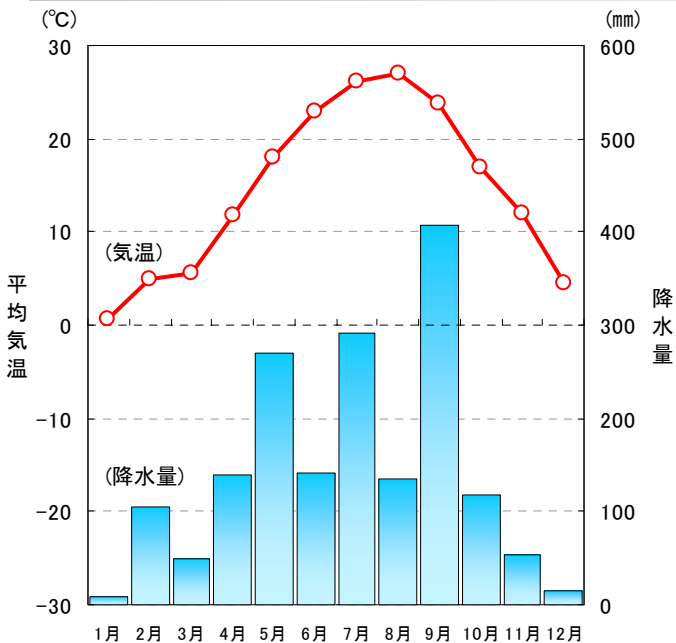
## ■ 土地の利用状況



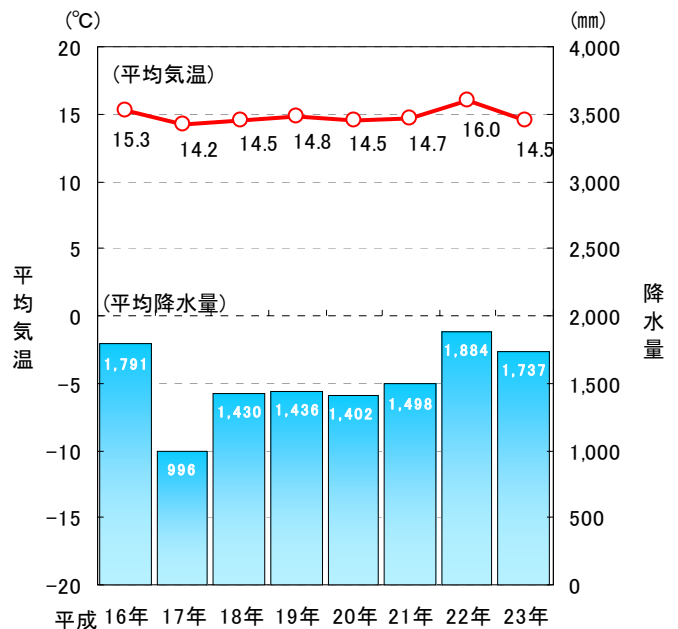
※境界未定部分0.15km<sup>2</sup>

資料: 都市計画課(基礎調査)

## ■ 月別平均気温と降水量の推移(平成23年)



## ■ 年別平均気温と平均降水量の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(°C)	9.8	17.4	19.3	24.7	30.3	35.1	37.3	37.9	36.3	25.7	25.3	15.6
最低(°C)	-7.1	-4.7	-5.3	-2.6	6.7	13.5	19.2	21.1	10.0	5.0	-0.7	-6.0
平均(°C)	0.6	5.0	5.6	11.8	17.9	22.9	26.2	26.9	23.8	17.0	12.0	4.6
降水量(mm)	8.5	104.0	50.0	140.0	270.5	141.5	292.5	136.0	408.0	117.0	54.5	14.5

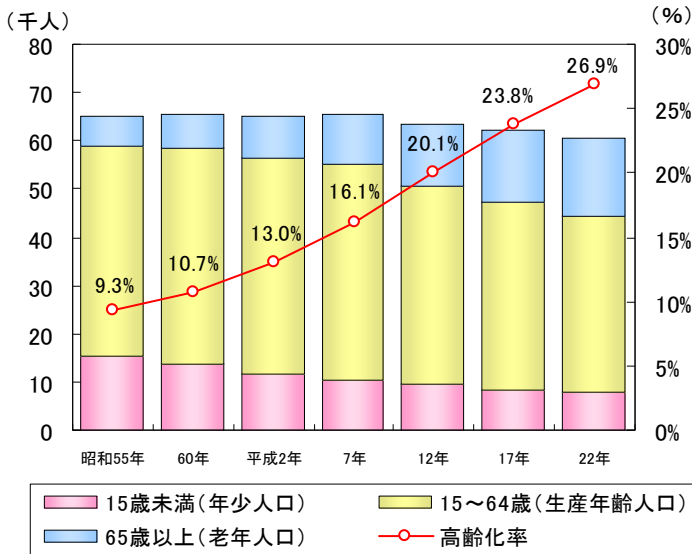
資料: 消防署

# 人口

土岐市の人口は、平成7年の国勢調査時には65,631人でしたが、それ以降は減少傾向にあります。人口動態を見ますと、平成13年以降は死亡者が出生者を上回る「自然減」、平成17年以降は転出者が転入者を上回る「社会減」となり、人口減少が進んでいます。

また、15歳未満の子どもが減り続ける一方で、65歳以上の高齢者人口は増加し、総人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は、平成22年の国勢調査時には26.9%まで増加しています。

## ■ 年齢3区分別人口と高齢化率



(人)	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年
総人口	65,038	65,308	64,946	65,631	63,283	62,102	60,475
年少人口	15,275	13,710	11,505	10,532	9,363	8,331	7,703
生産年齢人口	43,743	44,598	44,991	44,525	41,207	38,964	36,495
老年人口	6,017	7,000	8,444	10,574	12,690	14,802	16,252
不詳	3	0	6	0	23	5	25

資料:国勢調査

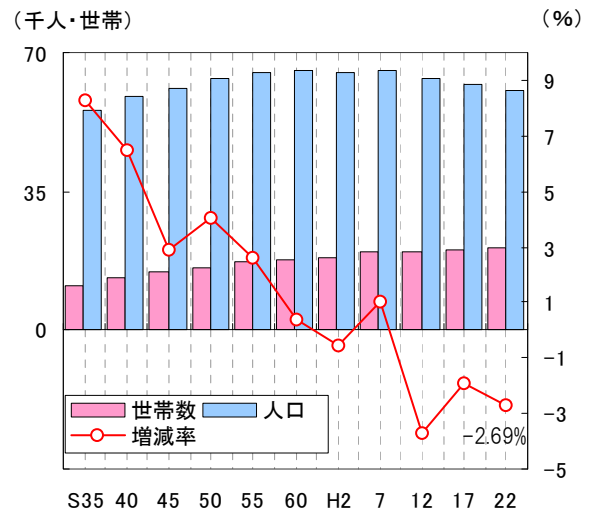
## ■ 人口・世帯数

(平成24年3月31日現在)

男	29,833 人
女	31,903 人
総数	61,736 人
世帯数	23,427 世帯

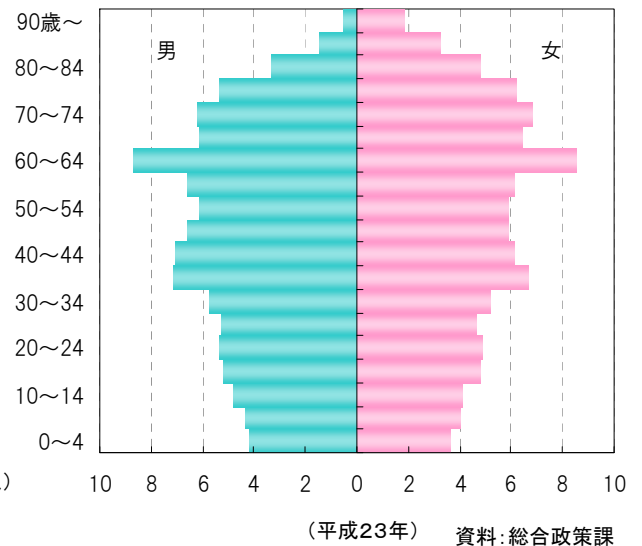
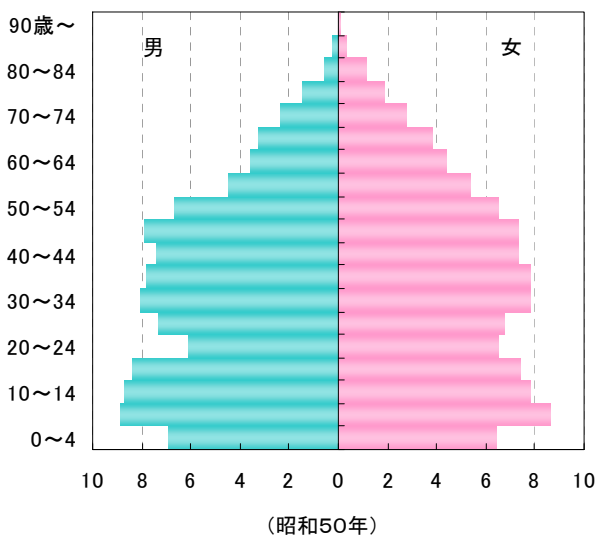
資料:総合政策課

## ■ 人口・世帯数の推移と人口増減率



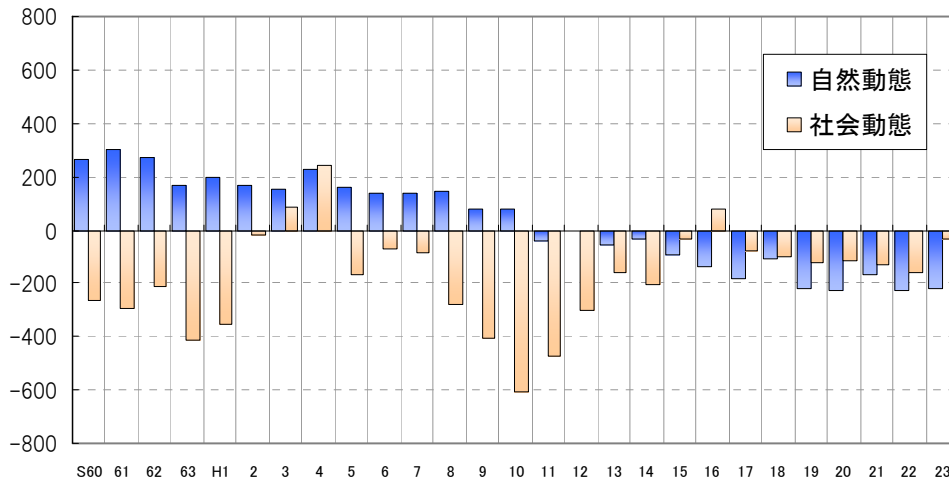
資料:国勢調査

## ■ 人口ピラミッドの推移





## 人口動態の推移



## 人口動態

(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

**自然動態** 230人減少

出生 463人

死亡 693人

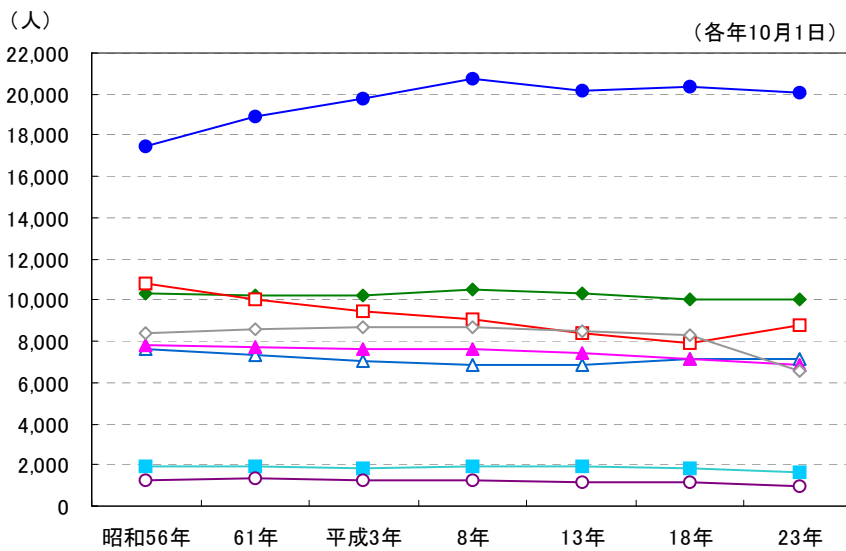
**社会動態** 33人減少

転入 1,747人

転出 1,780人

資料:市民課

## 町別の人口推移と人口密度



(平成23年10月1日)

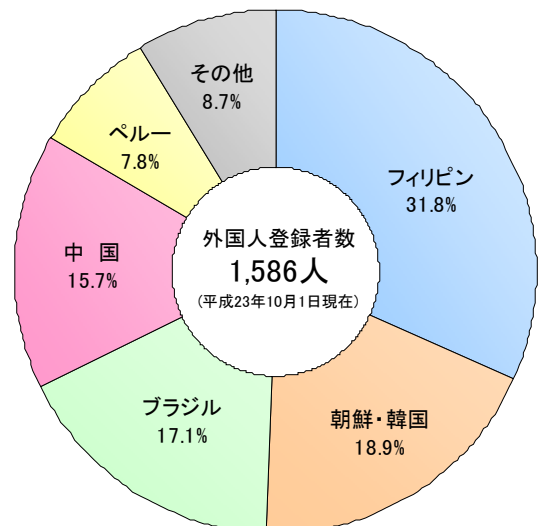
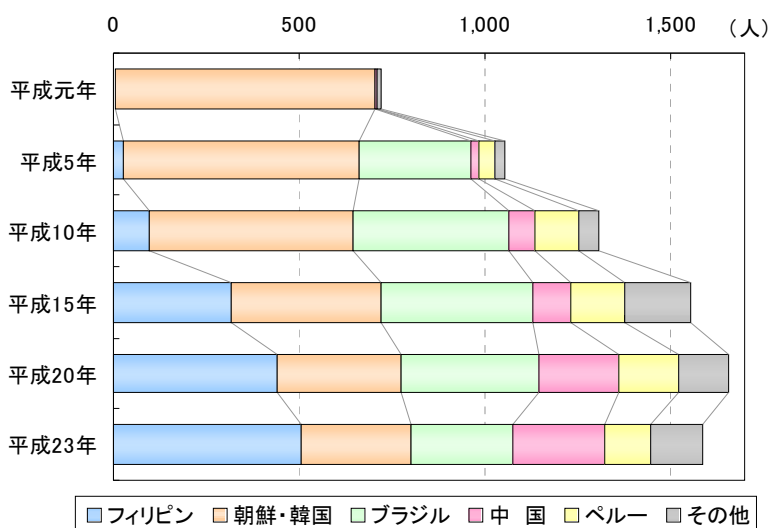
地区名	人口 (人)	人口密度 (人 / K㎡)
土岐津町	10,063	917.3
下石町	7,128	889.9
妻木町	6,881	458.1
鶴里町	1,663	75.5
曾木町	1,011	63.7
駄知町	8,813	1527.4
肥田町	6,602	687.7
泉町	20,041	693.5

※旭ヶ丘町分は、平成18年までは肥田町、平成23年は駄知町に含めてあります。

資料:総合政策課

## 国籍別外国人登録者の推移と割合

(各年10月1日現在)



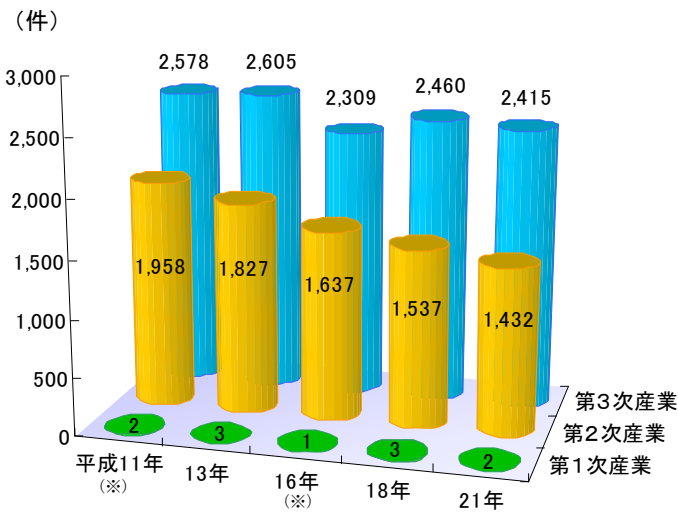
資料:総合政策課・市民課

# 産 業

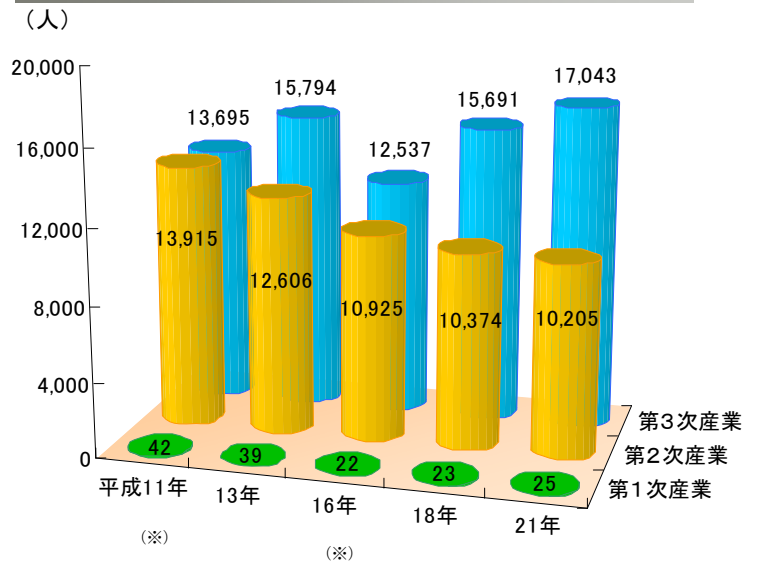
土岐市は良質な陶土に恵まれ、古来から美濃焼の産地として栄えてきました。製造業に占める窯業・土石製品製造業の割合は、事業所数・従業員数・製造品出荷額のいずれにおいても全体の半数以上を占めています。しかし、近年はそのいずれも減少傾向にあります。一方で、土岐市全体の従業者数は増加傾向にあり、特に小売業の従事者数は、平成17年の土岐プレミアムアウトレットのオープンに伴い回復をしました。

農家数は、昭和25年の調査結果と比較すると、約5分の1の562戸となっています。商店数は、昭和57年まで増加していましたが、それ以降は卸売業・小売業ともに減少しています。

## 産業分類別事業所数の推移



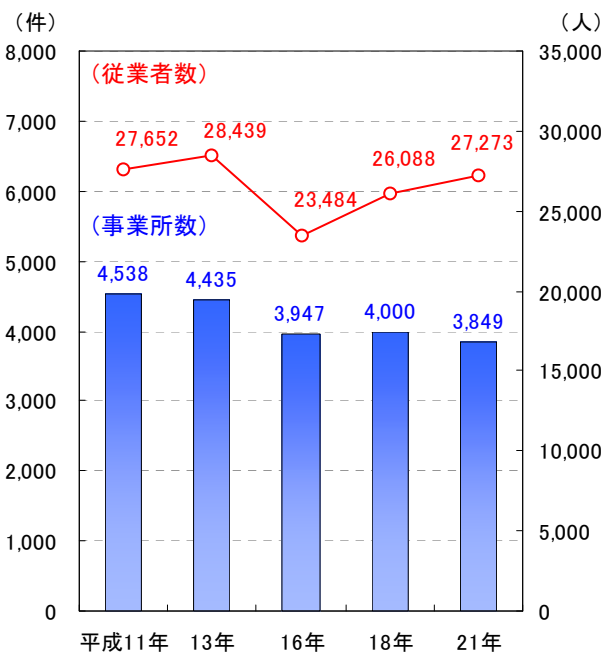
## 産業分類別従業者数の推移



※ 平成11年・16年は、事業所・企業統計調査(簡易調査)が実施されたため、事業所数・従業者数は民営の事業所のみの数値となっている。

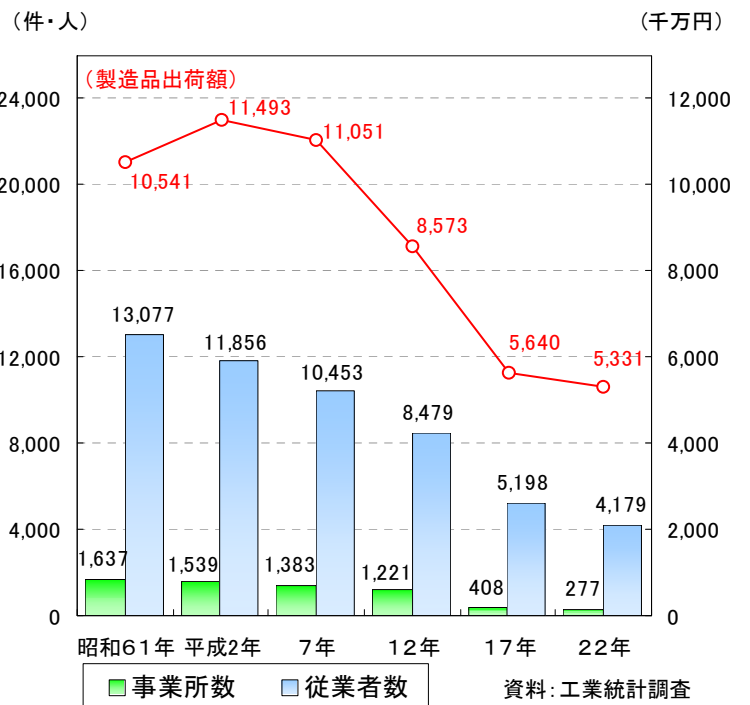
資料: 事業所・企業統計、経済センサス基礎調査

## 事業所数・従業者数の推移



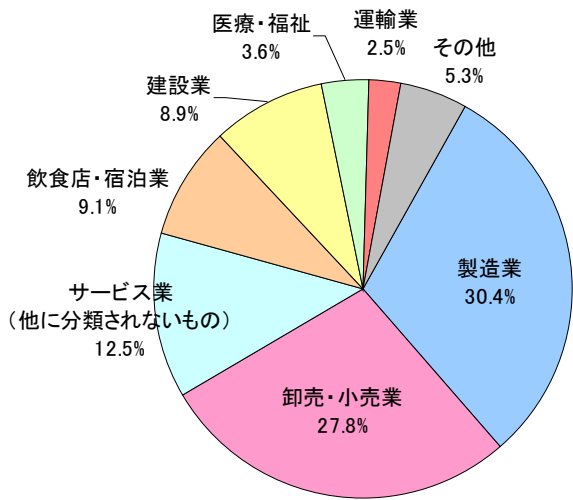
資料: 事業所・企業統計、経済センサス基礎調査

## 窯業土石製品製造業の事業者数・従業者数・製造品出荷額



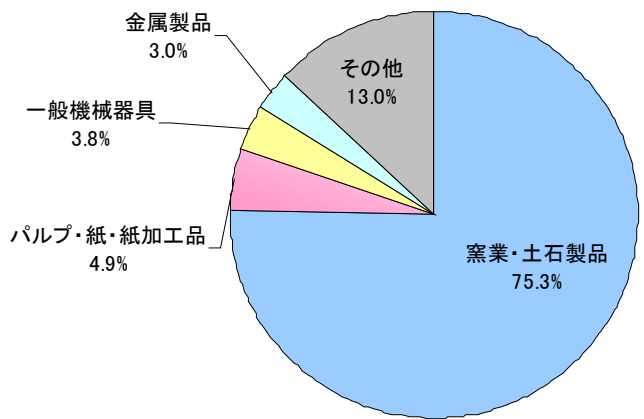
資料: 工業統計調査

### ■ 事業所数の内訳



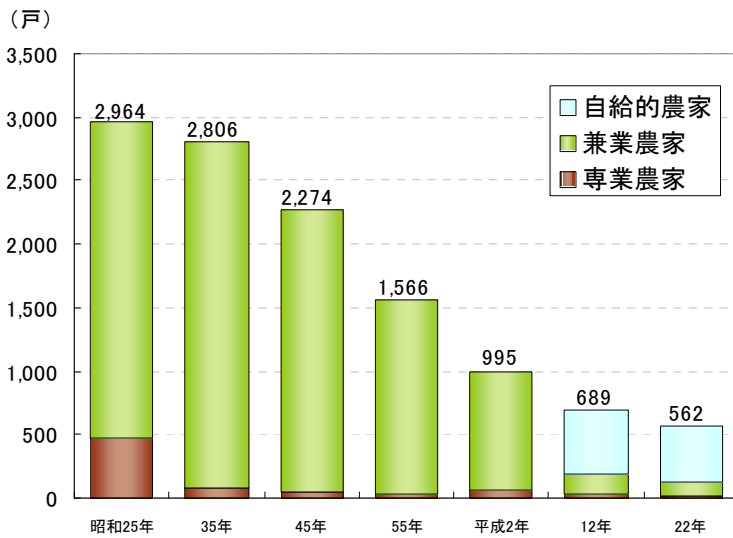
資料: 事業所・企業統計調査 (平成18年)

### ■ 製造業の事業所数の内訳



資料: 工業統計調査 (平成22年)

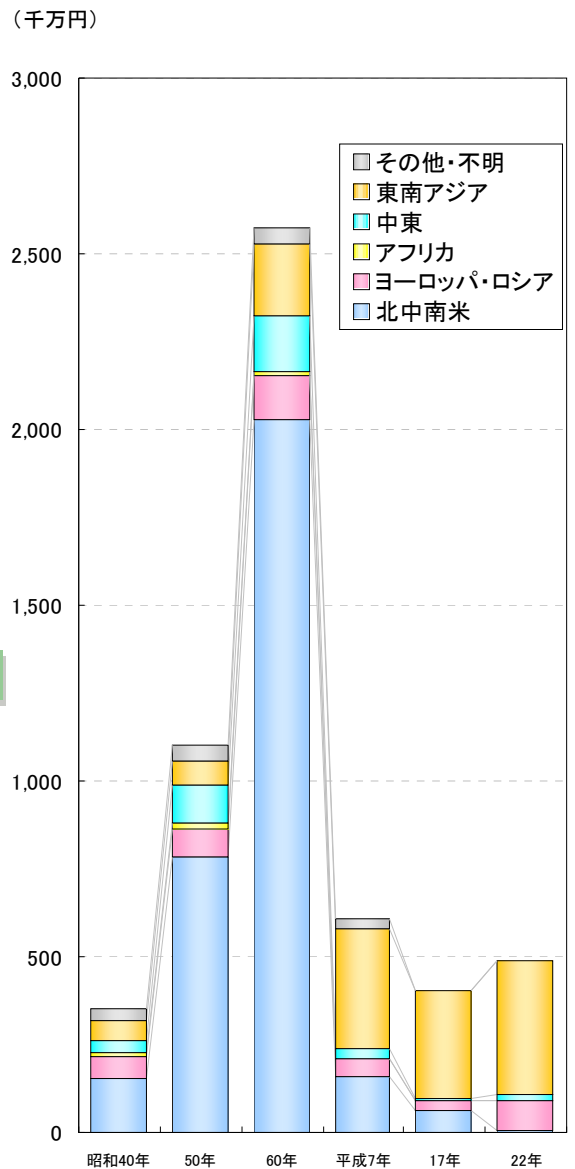
### ■ 農家(専業・兼業)数の推移



資料: 世界農林業センサス  
農業センサス  
農林業センサス

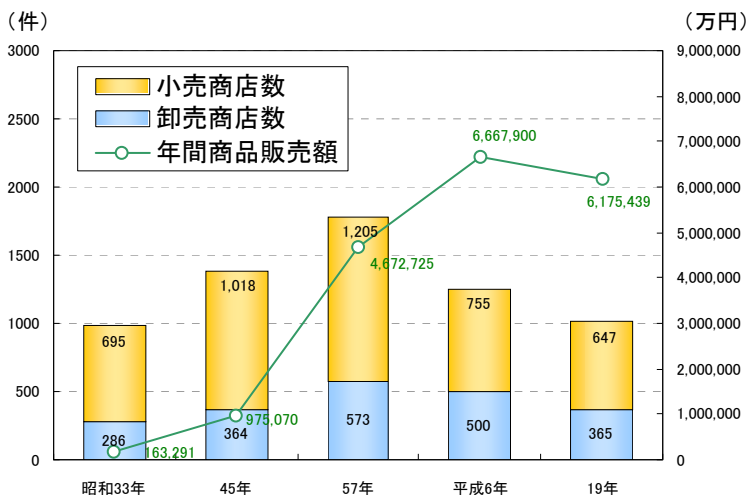
※平成12年から調査対象の専業業区分が変更されました。

### ■ 工業製品の輸出額の推移



資料: 岐阜県輸出関係調査

### ■ 商店数と年間商品販売額の推移



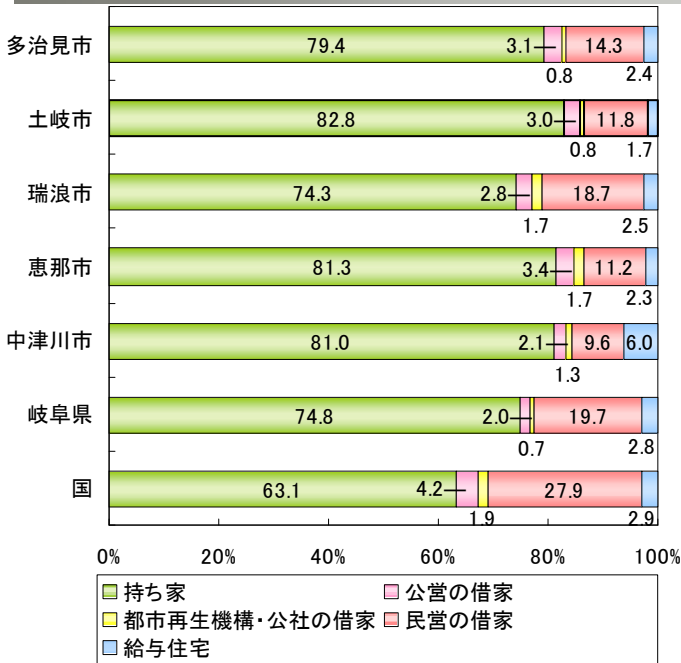
資料: 商業統計調査

# 建築・運輸

土岐市の住宅の所有関係は、国・県平均に比べ、持ち家の割合が高く借家の割合が低くなっており、東濃5市の中でも最も高い所有率となっています。土岐市は高速交通網が整備され、中央自動車道と東海環状自動車道の結節点として交通アクセスが充実しています。平成25年2月には、東海環状自動車道の五斗蒔PAにスマートICの供用が開始される予定であり、さらなる利便性の向上が見込まれます。

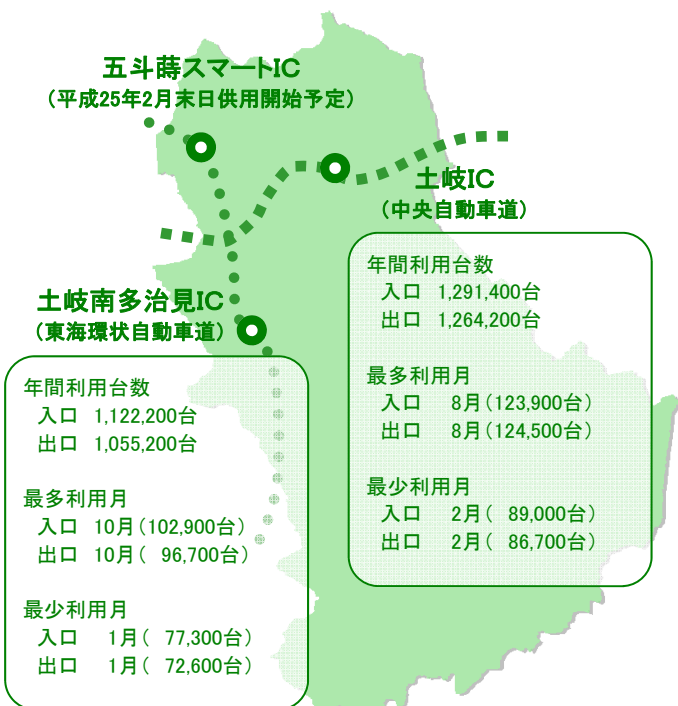
自動車保有台数は、現在のところほぼ横ばいですが、軽自動車の占める割合が高くなっています。

## 住宅の所有関係割合の比較



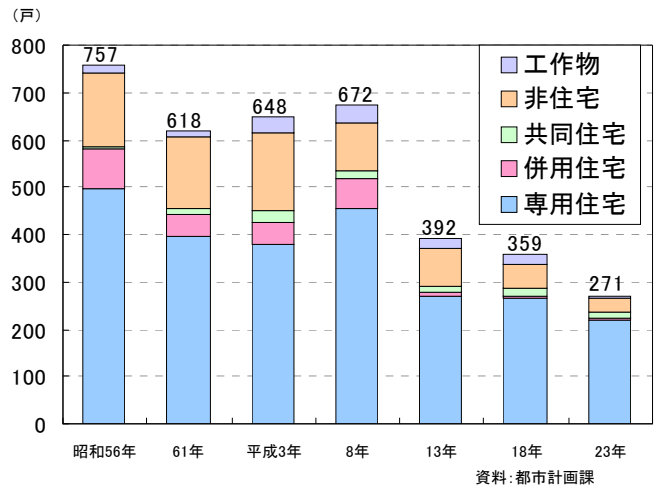
資料：住宅・土地統計調査（平成20年）

## 自動車道IC利用状況（平成23年）



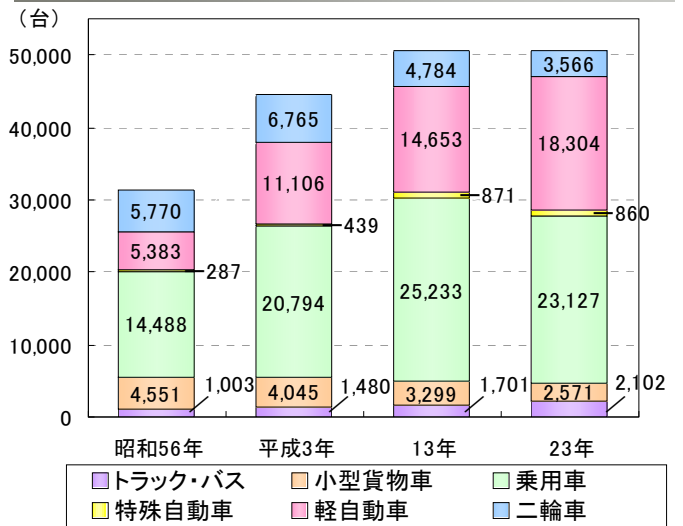
資料：中日本高速道路株式会社

## 建築状況の推移



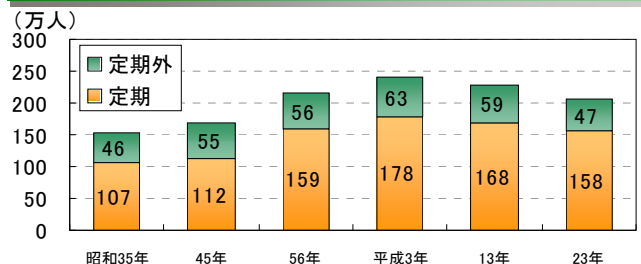
資料：都市計画課

## 自動車保有状況の推移



資料：岐阜県自動車会議所・税務課

## JR土岐市駅客者数の推移

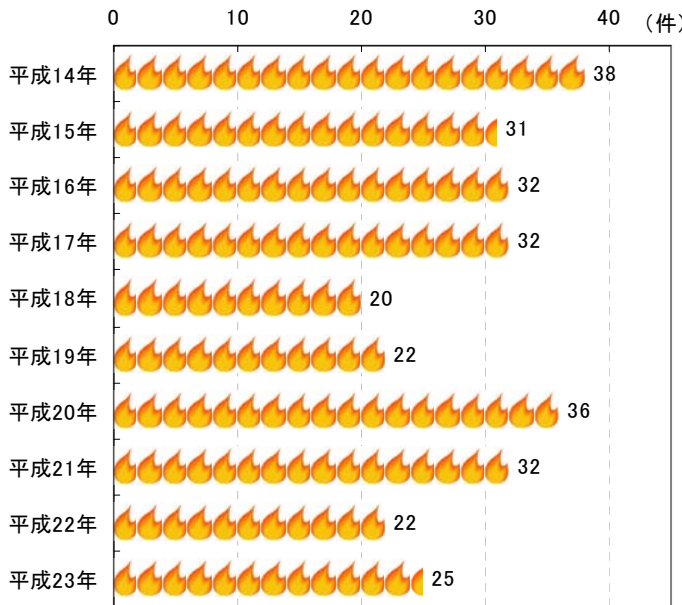


資料：JR東海

# 安全・安心

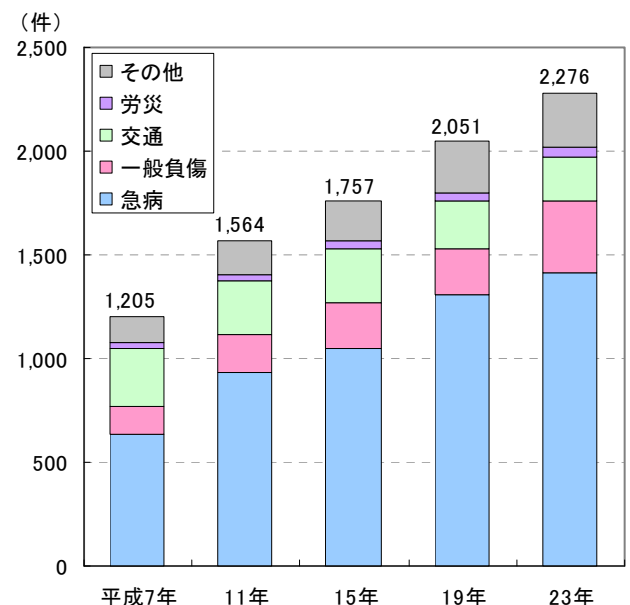
救急車両の出動回数は年々増加しており、その内訳は急病によるものが半数を超え、次いで一般負傷によるものが増加しています。交通事故の発件数とそれに伴う負傷者は、平成22年は若干増加したものの、平成18年と比較すると約3分の2まで減少しています。多治見警察署管内における犯罪発件数は、平成15年をピークに著しい増加があったものの、それ以降は減少しています。

## 火災発生状況の推移



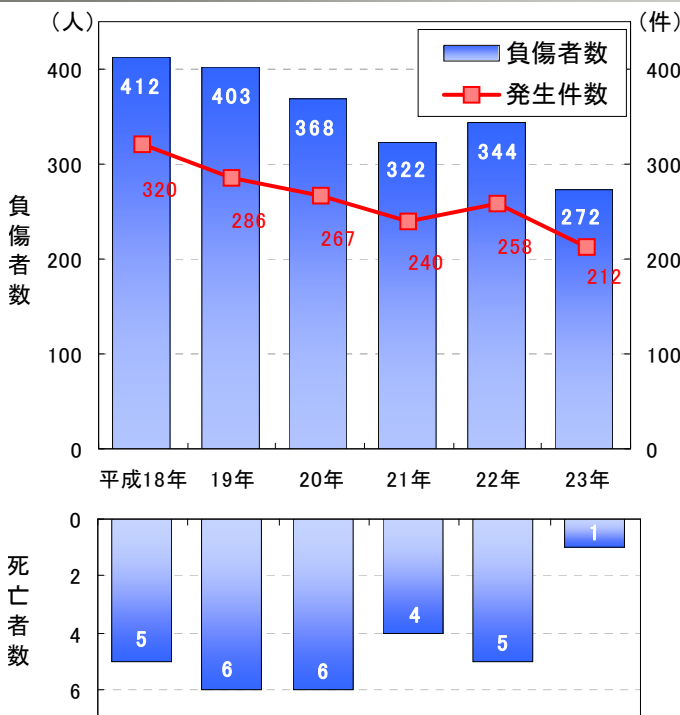
資料:消防署

## 救急車両出動回数の推移



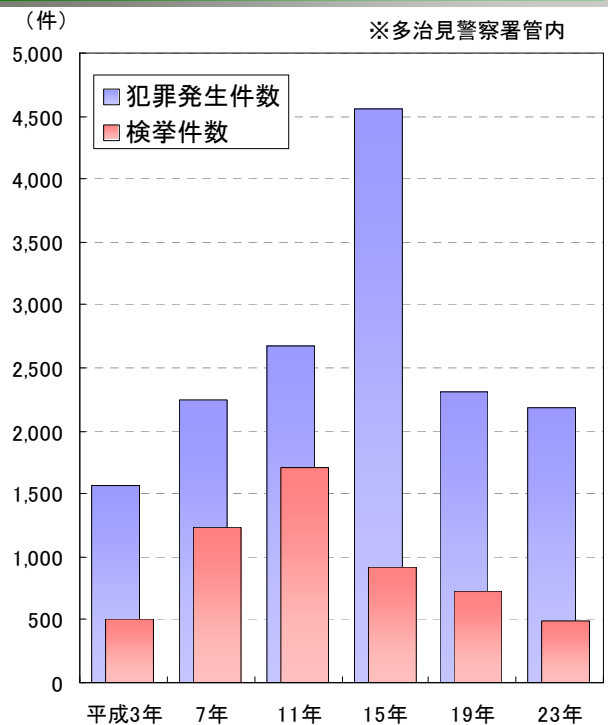
資料:消防署

## 交通事故の発生状況及び負傷者・死亡者の推移



資料:多治見警察署

## 犯罪発生件数と検挙件数の推移

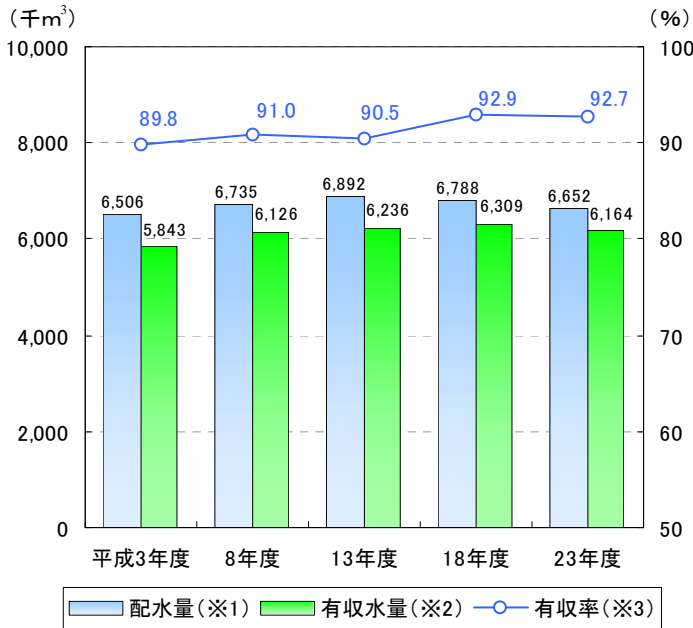


資料:多治見警察署

# 公衆衛生

下水道を利用できる人口の割合を示す普及率は、平成23年には84.4%にまで増加しましたが、下水道を利用できる地域内で実際に下水道に接続している人口の割合を示す水洗化率は、平成8年には74.8%となり、それ以降は緩やかに増加しています。ごみ処理量は、全体的に減少傾向にあります。産業廃棄物（不燃ごみ）の減少によるものが大きな要因となっています。

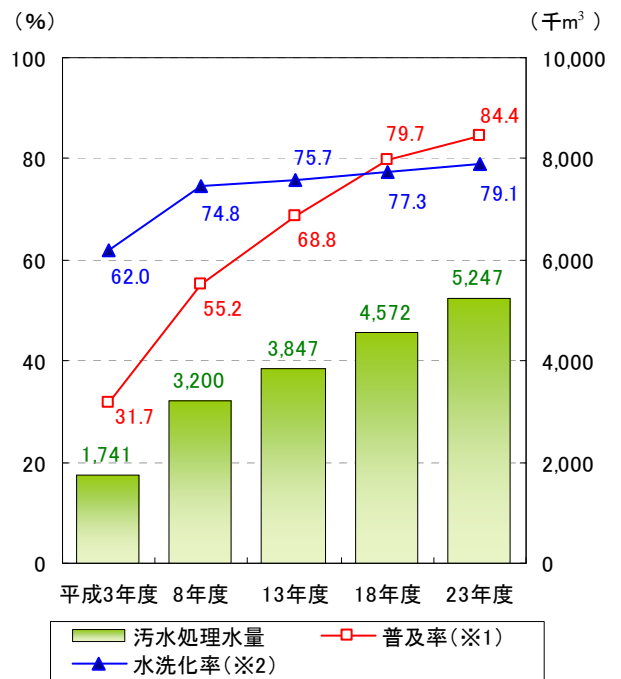
## ■ 上水道配水量・有収水量・有収率の推移



※1 取水された水量のうち、飲み水として浄水場から配水された水量。  
 ※2 配水量のうち、料金収入となった水量。  
 ※3 配水量のうち、有収水量の占める割合。

資料：水道課

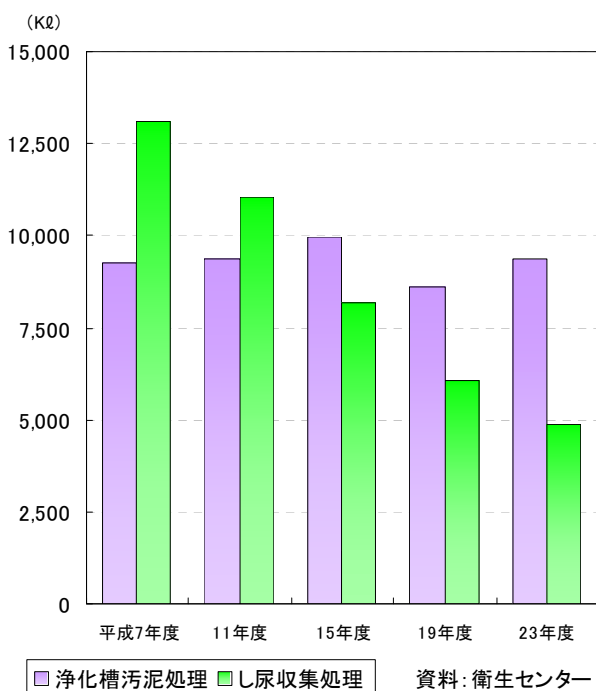
## ■ 汚水処理水量・下水道普及率・水洗化率の推移



※1 普及率=処理区域内人口/行政人口  
 ※2 水洗化率=水洗化人口/処理区域内人口

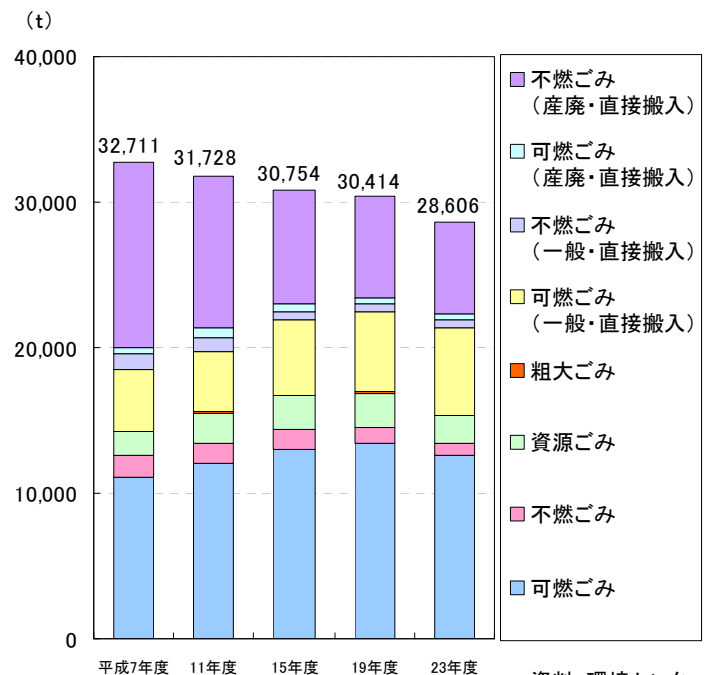
資料：浄化センター

## ■ 浄化槽汚泥処理量及びし尿処理収集量の推移



資料：衛生センター

## ■ ごみ処理量の推移

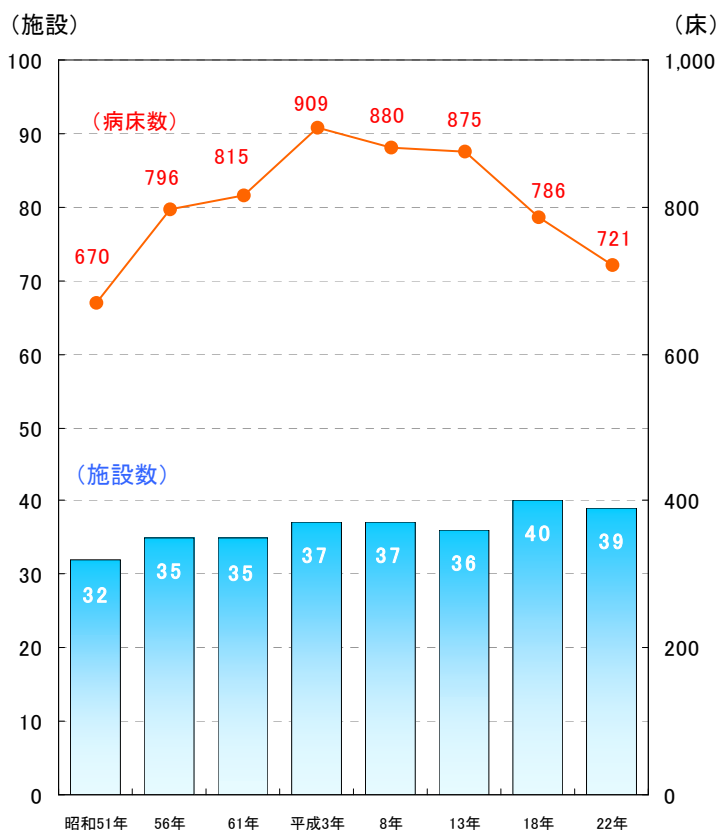


資料：環境センター

# 医療・保健

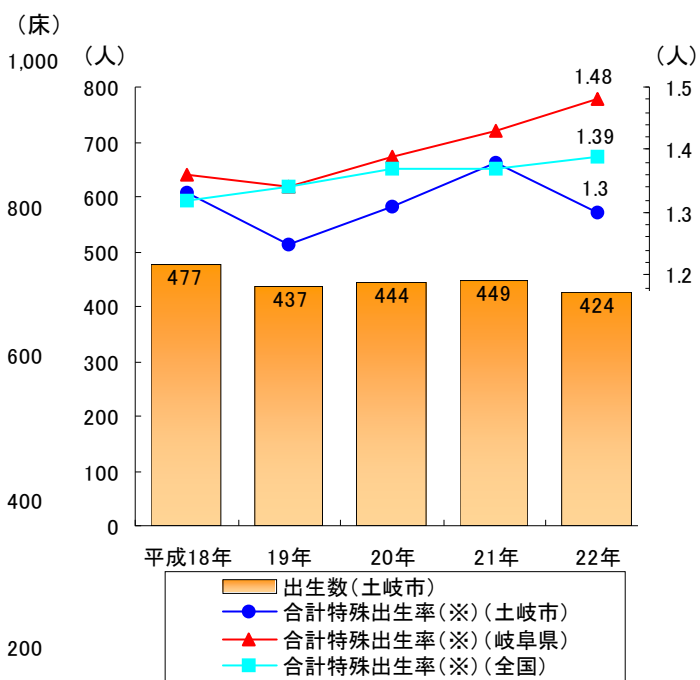
医療機関の施設数は、やや増加傾向にあります。病床数は平成3年の909床をピークに減少傾向にあります。出生者数は減少傾向にあり、土岐市の合計特殊出生率は全国や県よりもやや低い水準で推移しています。その反面、死亡者は年々増加しており、死因別に見ると悪性新生物（がん）による死亡者の割合が増加しています。男女別では、男性は3人に1人、女性は5人に1人が悪性新生物（がん）によって亡くなっています。

## 医療機関の施設数及び病床数の推移



資料：東濃保健所

## 出生者数と合計特殊出生率の推移

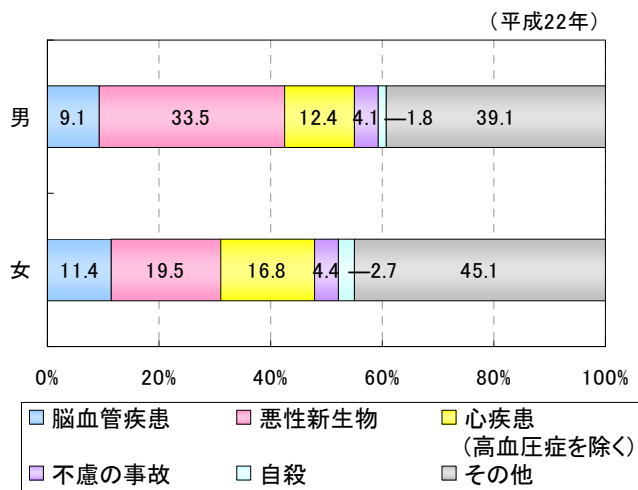
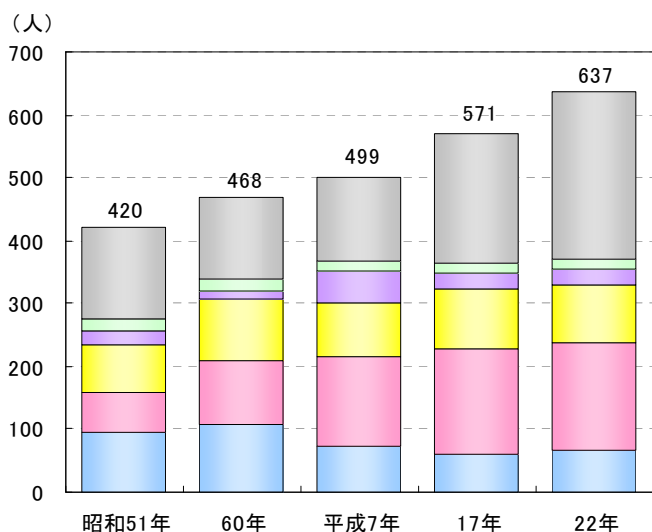


	平成18年	19年	20年	21年	22年
土岐市	1.33	1.25	1.31	1.38	1.30
岐阜県	1.36	1.34	1.39	1.43	1.48
全国	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39

※ 1人の女性が一生に産む子供の平均数。

資料：東濃保健所

## 死因別死亡者数の推移と男女別死因の割合



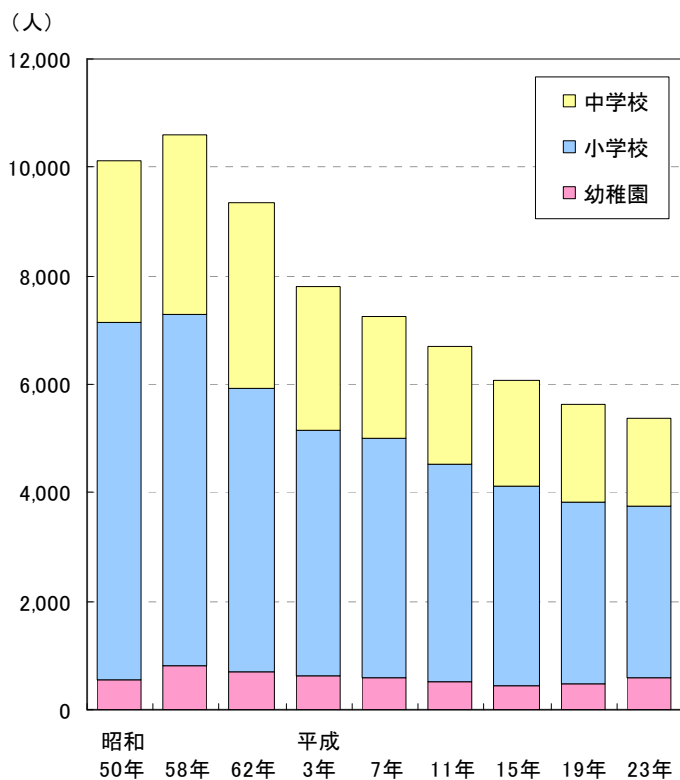
資料：東濃保健所

# 教育

少子化の影響により、園児・児童・生徒数は年々減少しており、その数は昭和50年と比較すると約半数程度となっています。教職員数1人あたりの園児・児童・生徒数も、幼稚園、小学校、中学校のいずれにおいても減少傾向が見られます。

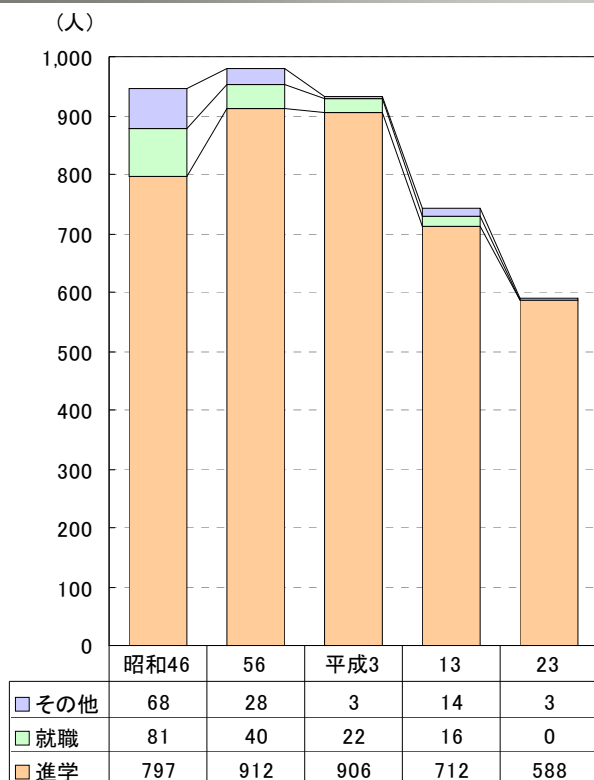
中学卒業者の進路状況については、進学者の割合が年々増加しています。

## 園児・児童・生徒の推移



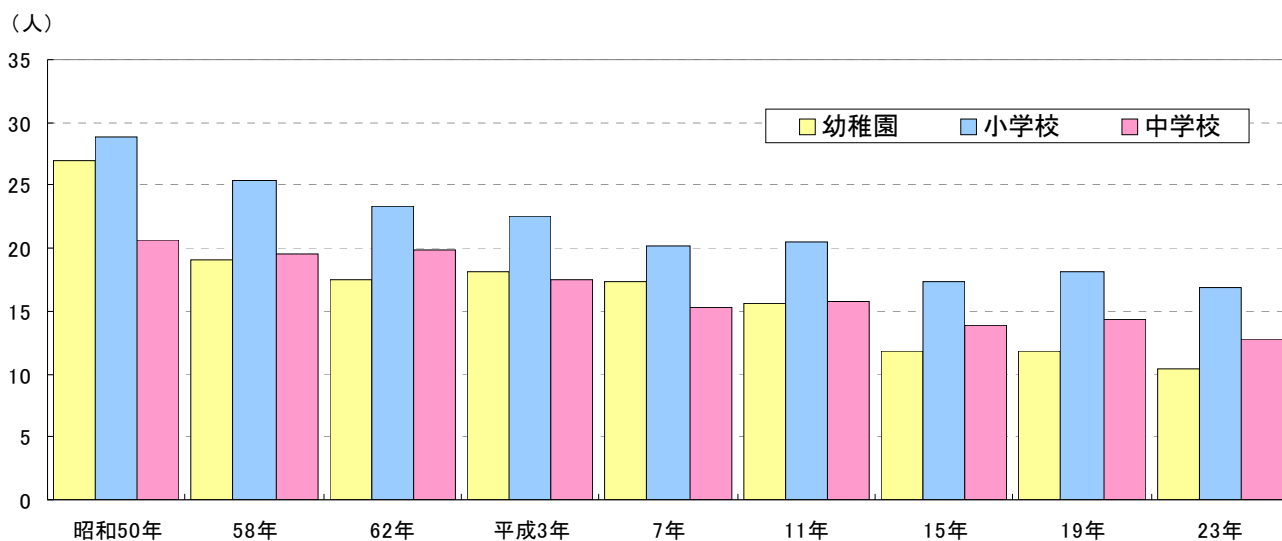
資料: 学校基本調査

## 中学卒業者の進路状況の推移



資料: 学校基本調査

## 教職員1人あたりの園児・児童・生徒数の推移



資料: 学校基本調査

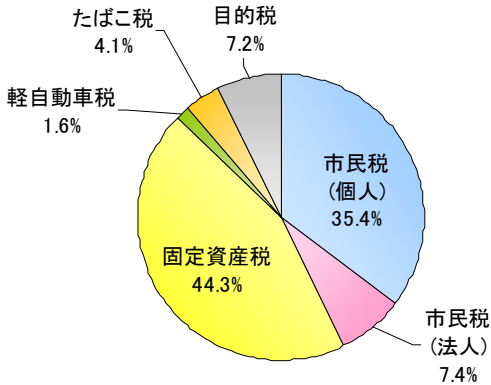


# 財政

土岐市の税収の大半は、市民税と固定資産税によって構成されています。市税収入は減少傾向にありますが、徴収率は増加しています。

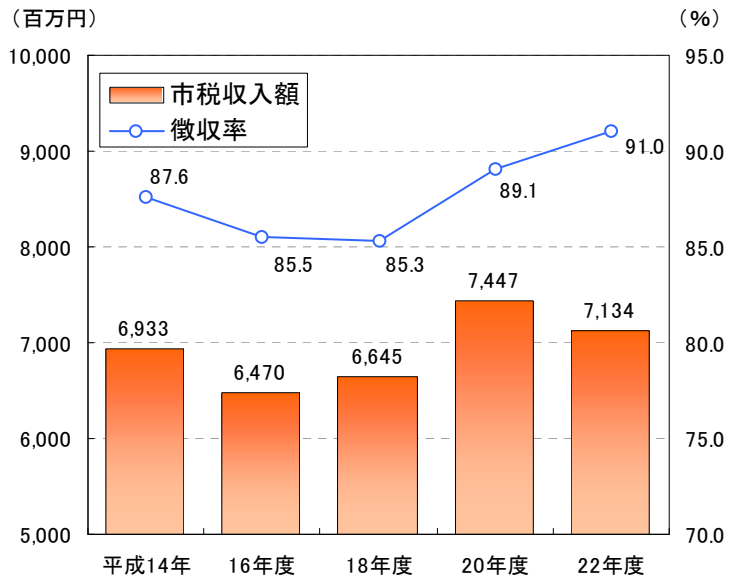
経常収支比率は、平成21年には95.3%まで増加しましたが、それ以降は減少しています。実質公債費比率は減少傾向にあり、平成22年は10.2%まで減少しました。

## 市税の内訳



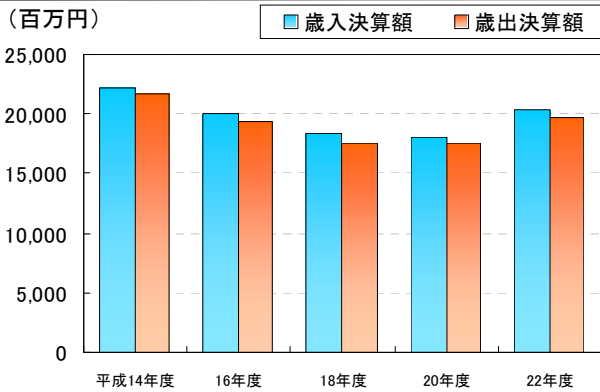
資料：地方財政状況調査(平成22年)

## 市税収入額及び徴収率の推移



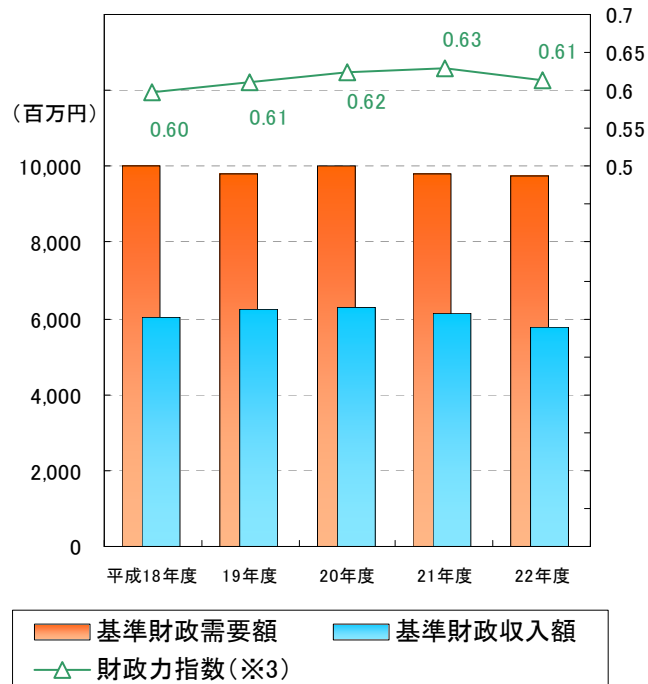
資料：税務課

## 普通会計の決算額の推移(歳入・歳出)



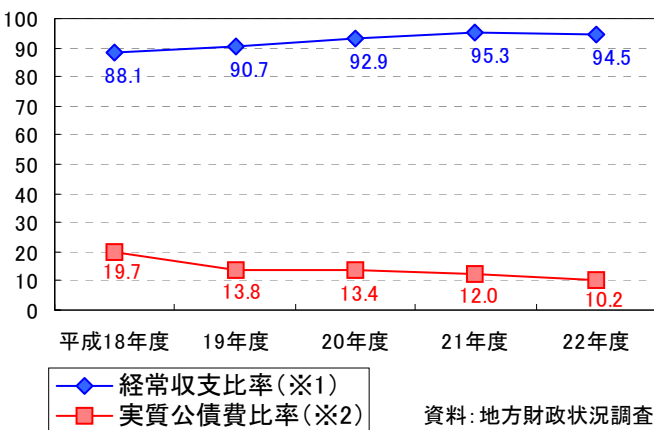
資料：地方財政状況調査

## 基準財政需要・収入額と財政力指数の推移



資料：地方財政状況調査

## 経常収支比率と実質公債費比率の推移



資料：地方財政状況調査

※1 経常収支比率…人件費や公債費など経常的な支出に対して、市税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを表す指標。  
 ※2 実質公債費比率…実質的な公債費(地方債の元利償還金)が、財政に及ぼす負担を表す指標。  
 ※3 財政力指数…地方公共団体の財政力を表す指標として用いられるものであり、基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値。

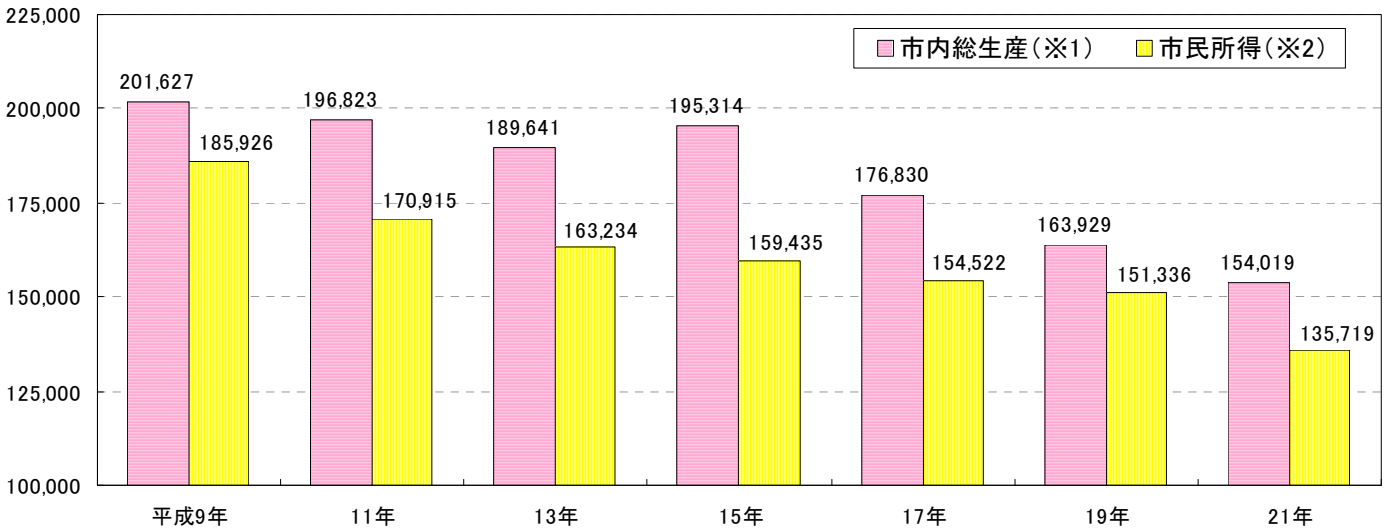
# 所得

市内総生産は、平成15年に若干の増加がありました、それ以降は減少を続けています。市民所得についても、平成9年以降減少傾向にあります。

経済規模の拡大率を表す経済成長率は、平成16年には-11.2%のマイナス成長となり、翌年にはプラスに転じましたが、それ以降はマイナス成長が続いています。

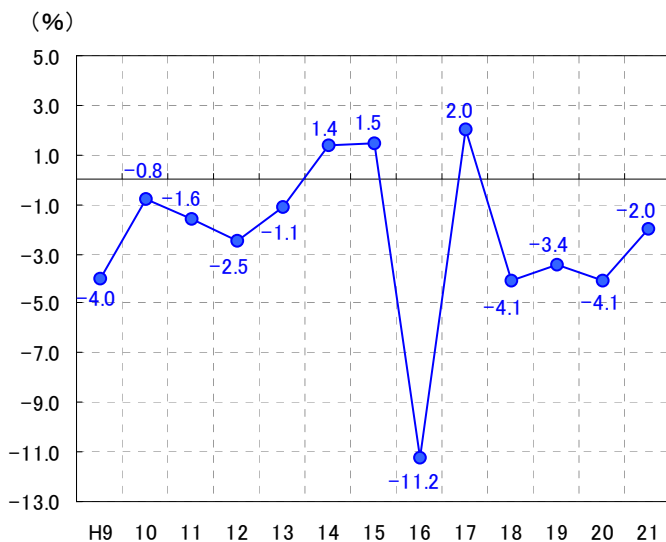
## ■ 市民所得と市内総生産の推移

(百万円)



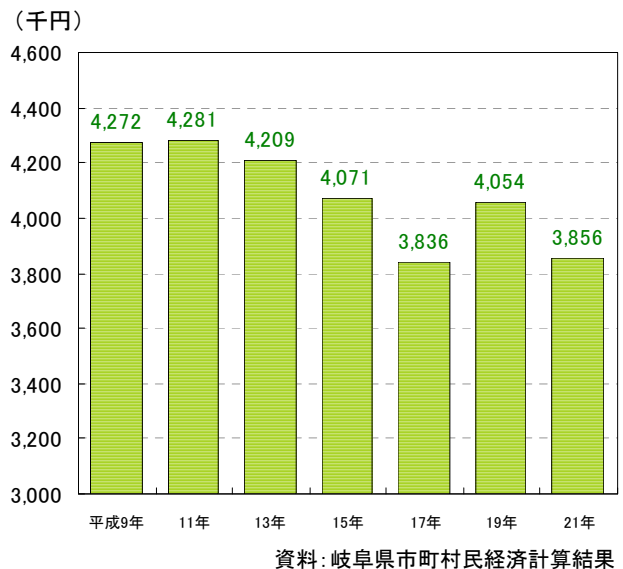
資料:岐阜県市町村民経済計算結果

## ■ 経済成長率の推移



資料:岐阜県市町村民経済計算結果

## ■ 雇員1人当たり雇員報酬の推移



資料:岐阜県市町村民経済計算結果

※1 市内総生産:一定期間内(年度単位の1か年)に、市内の各産業の生産活動によって生産された財貨及びサービスの総額(生産額)から、原材料費・燃料費・消耗品費の経費を差し引いたもの。

※2 市民所得:市内に居住する経済主体(家計・企業・政府)が、市内及び市外の生産活動に参加、提供した生産要素(労働・土地・資本)に分配される報酬金額の合計であり、雇員所得・企業所得・財産所得からなっている。

※所得項目における数値は、岐阜県市町村民経済計算結果の遡及改訂後のものとなっています。

# 統計から見る土岐市の暮らし



**世帯**  
1世帯に2.64人

(平成23年3月31日)



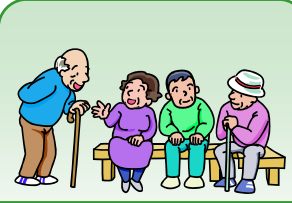
**出生**  
1日に1.27人

(平成23年)



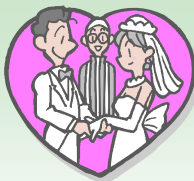
**死亡**  
1日に1.89人

(平成23年)



**高齢者**  
市民3.77人に1人

(平成23年3月31日)



**結婚**  
1日に0.64組

(平成23年)



**離婚**  
1日に0.29組

(平成23年)



**転入**  
1日に4.77人

(平成23年)



**転出**  
1日に4.86人

(平成23年)



**人口密度**  
1km<sup>2</sup>に531.47人

(平成23年3月31日)



**火災**  
14.6日に1件

(平成23年)



**交通事故**  
1日に2.36件

(平成23年)



**救急車出動**  
1日に6.22件

(平成23年)



**水道使用量**  
市民1人あたり  
1日0.29m<sup>3</sup>

(平成23年度)



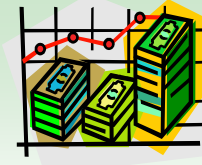
**ごみ排出量**  
1世帯あたり  
1日2.56kg

(平成23年度)



**市民所得**  
市民1人あたり  
2,356,000円

(平成21年)

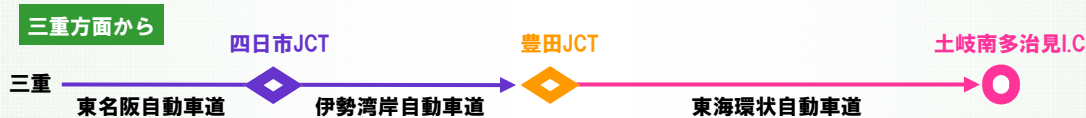
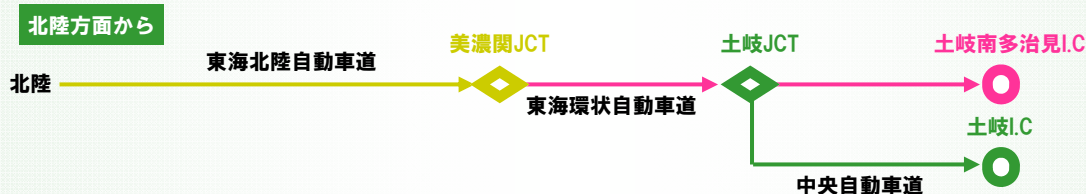
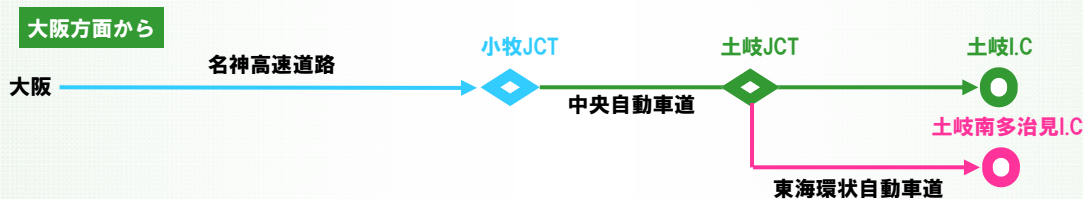
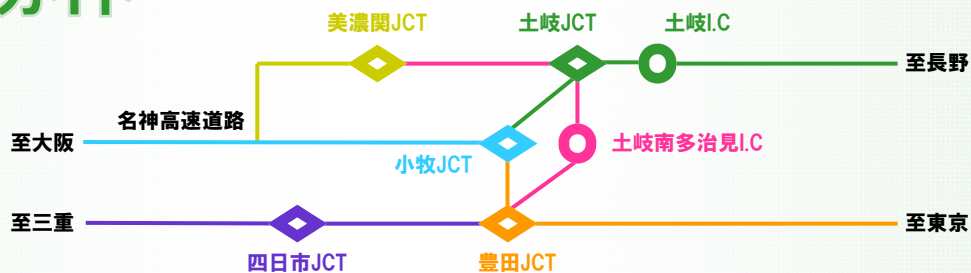


**財政規模**  
市民1人あたり  
318,346円

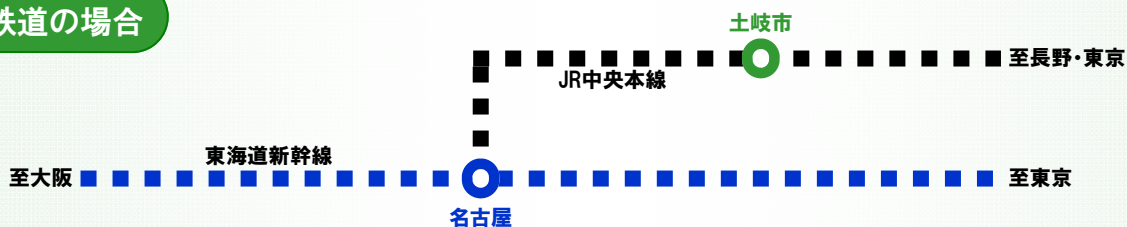
(平成23年度)  
※歳出決算ベース

# アクセスガイド

## 自動車の場合



## 鉄道の場合



## 土岐市統計書2011 一概要版一

発行：岐阜県土岐市

〒509-5192 岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101

TEL：0572-54-1111（代）

FAX：0572-54-1127

URL：<http://www.city.toki.lg.jp/>

発行年月：平成24年10月